

提案の種

B班—物語2

物 語	コメント
<p>新屋には、昔からのいろんな特産物があるが、 ① 後継者がなかなかいないために、非常に苦心していると言 ② われている。</p> <p>それでも、酒、味噌、醤油、シヨツツルなどの醸造業が古 ③ い家並みを残しながら、がんばっている。④</p> <p>いつでもいいものが、つくれるように気持ちだけは残そう と思う。</p> <p>そのせいか、表町通りには、土蔵がたくさん残っている。 ④</p> <p>これを活用する業種を育てていきたい。</p> <p>むかしから、新屋の特産物は非常にいいものがあるのでもう ⑤ まく売れる工夫をしていけば、新しい道が開けるのではな いかと思う。</p> <p>なんとか新屋を良くしようと、みんなでがんばっている町 ⑥ 「新屋」、私は好きだ。</p>	<p>①今ある特産物以外に新しく生み出せるものはないか？(雄物川のヤツ目うなぎはどうか…?)</p> <p>②地域産業のおもしろさを子供達に伝えるキッカケを作りたいものです。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物を地域振興に活用して成功している例は少なくない。 ・新屋の特産品、新屋でとれた農産物等を販売するところがあるといい。 ・個別には有名ですが、「新屋の特産物」としてアピールできたらいいですね。 ・酒としょつつる、昔の我が家がなつかしいです。私の家の向かいは佐七しょつつる屋、50m先の曲がり角が三浦酒造業(今の秋田晴)そして我が家はトーフ屋で、売れ残ったトーフは毎晩の様にしょつつる鍋でした。酒屋と醤油屋が隣り合っているので、毎日しょつつる、酒、みそ醤油の匂いとトーフの味で育ちました。 <p>④古い家並み：この景観がキーですね。</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な土蔵も少なくない。何かに活用できないものか。 ・使える蔵はどのくらいあるのだろう。 ・いずれも個人所有であり、公に使えるよう理解してもらう事が大変だと思う。 <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新屋の方々の誇りが伝わってきます。
<p>提 案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の職人さんががんばっている姿を子ども達がイベント等であそびながら、食べながら理解できれば、交流を持てれば→地域学習の場として(本を読んだりPCしたり…も)提供。 ・産(住民)、学(美短)、官(秋田市)で協力し、ぜひ「新屋」をアピールできる事業を興したいですね。 ・土蔵で地場産品を調理して食べさせてくれて直売もする、というのはどうでしょうか？ ・独自の「新屋ブランド」をつくってはどうでしょう？ ・コメントに同じ。 ・蔵に「一ノ蔵」「二ノ蔵」「三ノ蔵」等の名称をつけ、レストラン、居酒屋、喫茶店、パブ等の飲食店の他、資料館、展示館、音楽ファンの人のバンド練習館をつくる。 	